

特集

商工会議所の

サービスを積極利用

事業再建に 奮闘する 経営者たち

東日本大震災から1年4カ月余りが経過したいま、
仙台市内で被災した企業は、
どのような復興への道のりをたどっているのでしょうか。
さまざまな補助金制度や支援制度、相談サービスなどを
活用して、前向きに事業の再建を図る経営者の方々に、
現在の取り組みについてうかがいました。

有限会社マルワステンレス工業別棟の仮設工場で作っていた
仙台七夕まつりの飾り。この鉄枠はくす玉部分につかわれる。

補助金申請書類作成のサポートを受け、 2回目で交付にこぎつけました。

有限会社マルワステンレス工業（宮城野区蒲生）



代表取締役 **阿部貴之**さん（右）
取締役会長 **阿部和實**さん（左）

東日本大震災の津波によって、工場と事務所が流失してしまったマルワステンレス工業。創業28年目にして、これまでにない苦境に立たされました。

「これまで取引先にも恵まれ、機械を1台ずつ増やしながらか家内と息子、6人の従業員たちと少しずつ事業を拡張してきました。地震の翌日、工場に向かったのですが、ほとんどの建物が津波にさらわ

れてしまい、うちの工場の場所がわからないうです。ああ、これで終わりか……その時は思いました。でも息子が取引先を自転車で回り、『再開します』と言っているのを見て、『やらなければならぬ』と思ったんですね。かろうじて残った基礎部分に仮設の工場を自分たちで建てました」と話すのは会長の和實さん。やるならすぐにできることから取りかかろうと、仙台商工会議所を通じて「遊休機械無償マッチング支援プロジェクト」（下記参照）を活用、事業再開に必要な工作機械の提供を受けました。

さらに同じころ、事業再開に際して資金の準備も必要だったため、宮城県の中小企業施設設備復旧支援事業費補助金を受けようと書類を提出。しかし、1回目はその対象から外れてしまいました。原因は申請書類の内容にあったようです。

当時を振り返り、奥様の和子さんはこう話します。「これは困ったことになったと。これまで補助金というものを使った経験もなく、書類を書いたこともないので、再度チャレンジするといつても誰に聞け

ばいいのかわからず、途方に暮れていました。そんな時、遊休機械を提供していただいた時にお世話になった商工会議所職員の顔がパツと頭に浮かんだんです。すぐに電話で事情を話したところ、専門家の先生と担当職員の方が、事業計画の見直しや申請書類作成に力を貸してくれることになりました。震災後は、ただでさえ悩みが多く不安なものです。そんな中で商工会議所の方たちはうちの事業内容をよく理解してくださり、専門家としての知識と経験を駆使して、親身になってアドバイスしてくれました。仕事の悩みを気軽に相談できる人がいるというのは、心強いですね。本当に助かりました」。

こうして商工会議所の指導により申請のポイントを的確に把握でき、無事2回目の申請が通り、事業再開へ大きな一歩を踏み出すことができました。

最後に、今後の目標を息子であり社長の貴之さんに伺いました。

「今、工場にある機械の数は震災前の3分の1なんです。いつまでに……と期間を決めることはできませんが、震災の前まで使っていた道具をそろえ、生産能力を元に戻すのが当面の目標です」と話してくれました。ていねいな仕事の評判を呼び、口コミでお客様を獲得してきた同社らしさは、震災前と何も変わっていないようです。

遊休機械無償 マッチング支援 プロジェクトとは？



全国514の商工会議所のネットワークを活用し、津波などで生産機械等が流出・損壊した被災地の事業所に、遊休製造工作機械の提供を無償で行なうもの。

昨年9月の開始以来、これまでで約750件のマッチングが成立しています。

面倒な手続きは不要です。支援を必要とされている方、まずは会議所にご相談ください。機械をご提供いただける事業所さまからのご連絡もお待ちしております。

マル経融資の震災対応特枠を活用し、 新店舗開業を目指しています。

サルサ&ピッツアバール nicoニコ（青葉区一番町）



代表 佐々木 一晃さん

仙台高等裁判所近くで、イタリア料理店を営む佐々木さん。飲食店でありながら、平日はサルサダンスのレッスン、週末には料理とサルサを楽しむパーティで全国からファンを集めています。昨年の震災では多くの食器が割れ、床に亀裂が入るなどの大きな被害がありました。

「震災後、足が遠のいてしまったお客様を呼び戻す手だてを考えていた時、『商工会議所に被災した事業者のための融資があるらしい』と教えていただき、一軒目を出店する時にもお世話になった商工会議所の経営指導員の方に、まずは相談してみようと電話したんです」と佐々木さん。その後、融資に関する相談と新たな出

店のアイデアを携えて商工会議所へ。事業計画書の書き方や、融資を受けるための書類作成に関する指導を受けて、マル経融資（経営改善貸付）の震災対応特枠（下記参照）を利用することになりました。

「震災後、ディナーのお客様が減少し、代わりにお昼のお弁当の売り上げが3倍以上に増えました。今はこのお弁当と週末のパーティにポイントを絞ろうと思いましたが、いずれはおいしい料理とお酒を楽しんでいただく店に復活させたいと思っています。商工会議所の担当の方は、そんな私の複雑な心境を理解しようと努め、熱心にあドバイスしてくれました。それがうれしかったですね」と佐々木さん。この夏、マル経融資を活用しサルサ仲間を含め、地域の人々の憩いの場になるようなカフェを新たに米ヶ袋に開店する予定です。「将棋」も楽しめるスペースになるとか。「nico」の店名通り、「ニコニコ笑顔」を創出するアイデアで、お客様にもまちらにも元気を提供しています。



バイキング形式のパーティ料理も人気

マル経融資とは？

商工会議所の経営指導を受けている小規模事業者の方が、経営改善に必要な資金を無担保・無保証人で利用できる日本政策金融公庫の融資制度。

一般枠と震災対応枠の2種類があり、震災対応枠については最初の3年間の金利が0%になります。

この金利0%は全国でも仙台だけのサービスで仙台商工会議所が仙台市に要望を行い実施に結びついたもの。

※利用には一定の要件があります。

仙台商工会議所が
推薦します！

2,500万円まで

『仙台市による利子補給』により震災対応特枠については
当初の3年間の実質金利0%

東日本大震災の復旧・復興の事業資金としてもご利用ください！

融資対象	常時使用する従業員が 商業・サービス業：5人以下 製造業・建設業・その他：20人以下						
融資額	【一般枠】1,500万円以内 【震災対応枠】1,000万円以内 <small>※【震災対応枠】の利用は仙台市が発行する「被災証明」・「被災届出証明」が必要となります。</small>						
融資利率	<table border="1"> <tr> <td>運転資金 年 1.75%</td> <td>設備資金 年 1.85%</td> </tr> <tr> <td>設備資金 年 1.85%</td> <td>▶ 1.25%</td> </tr> </table> <small>※設備金利は2年間の優遇金利です。条件を満たせば完済まで優遇を受けることができます。</small> <table border="1"> <tr> <td>運転・設備 年 0.95%</td> <td>▶ 0.00%</td> </tr> </table> <small>※震災対応特別枠は貸付後3年間の特別金利となります。仙台市利子補給（利子補給は平成25年3月31日までの融資実行分が対象となります。）</small>	運転資金 年 1.75%	設備資金 年 1.85%	設備資金 年 1.85%	▶ 1.25%	運転・設備 年 0.95%	▶ 0.00%
運転資金 年 1.75%	設備資金 年 1.85%						
設備資金 年 1.85%	▶ 1.25%						
運転・設備 年 0.95%	▶ 0.00%						
返済期間	<table border="1"> <tr> <td>運転資金 7年以内（据置1年以内）</td> <td>設備資金 10年以内（据置2年以内）</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>融資機関</td> <td>日本政策金融公庫</td> </tr> </table>	運転資金 7年以内（据置1年以内）	設備資金 10年以内（据置2年以内）	融資機関	日本政策金融公庫		
運転資金 7年以内（据置1年以内）	設備資金 10年以内（据置2年以内）						
融資機関	日本政策金融公庫						

マル経融資3つの特長 担保不要！ 保証人不要！ 低金利！

商工会議所の指導を受けたことを自信に、 まちに“癒しの空間”を創出します。

CHIHIRO(ちひろ)整骨院 〔宮城野区福岡〕



院長 自 知弘さん

自さんが仙台駅東口に整骨院を開業したのは、昨年の11月21日。震災によって、勤務先の整骨院が入居するビルが損壊し、再開の目途がなかなか立たなかったこと、また40歳までに自分の整骨院を持ちたいと思っていたこともあり、意を決して独立開業の道を選択しました。

「店舗探しは自分で行いましたが、創業に関わる手続きは、仙台商工会議所の経営指導員の方に相談に乗っていただきました。私が作成した創業計画書を見直しながら、考えが足りない部分を補ったり、マーケティング情報を提供してもらい、見通しの甘い部分を練り直したり。今後の事業展開を考える上で、とてもため

になりました」と話す自さんは、合計7回、会議所に足を運んだそうです。その結果、日本政策金融公庫からの融資が決定。「資金調達に関する知識はほとんどありませんでしたし、初めての経験で不安になっていく時に、相談できる専門家がいます」というのは、実に心強かったです」と会議所の必要性について話します。

「ちよつと調子が悪いなと感じた時、気軽に来ていただけるような関係を患者様と築いていきたいですね」と自さん。奇しくも今回の震災が独立開業のきっかけになったものの、まさにピンチをチャンスに変えるべく、次の目標は一緒にがんばってくれる人を雇用することだそうです。



CHIHIRO整骨院は清潔感あふれる、まちの癒し空間

ビジネス交流会・商談会とは？

震災後、販路の問題で悩んでいる方も多いため、商工会議所が主催する交流会・商談会は、異業種交流から逆見本市までその種類はさまざま。仙台会議所の会員企業はもちろん、東京・名古屋・大阪など全国の企業と交流を図ることができるのが大きな魅力です。

この商談会をきっかけに、大手コンビニエンスストアや百貨店との取引に結びついた事例もご報告いただいています。皆さんもぜひ本事業を活用して、ご自慢の商品を売り込んでみませんか？



お一人で悩まずに、
私たちにぜひ相談ください。



仙台商工会議所 中小企業支援部 経営支援チーム
経営指導員 海老 広大

仙台商工会議所では事業再建を目指す方々の窓口相談や、訪問相談をはじめ、専門家やその他支援機関との連携を図りながら、お客様のさまざまな課題解決を支援しており、職員は皆、中小企業の復興なくして仙台・宮城の経済の未来はないという共通の気持ちを持って日々の業務に励んでいます。震災から1年4カ月が経過した今でも、復興のスタートラインに立つことができず知っていたいただきたい経営者としての心構えや資金調達方法、行政によるさまざまな施策等、全体のアウトラインをつかんでいただけよう、分かりやすく説明いたします。

当然ながら、単に数字と向き合っただけの事務的な支援をするのではなく、膝を突き合わせながら、事業者の不安や心配をやらわげ、経営者が抱く思いやビジョンの実現に向けて最大限の支援を行ってまいります。

なかなか来所が難しい方は、当所に登録している約120人の専門家を無料で事業所に派遣することもできます。お一人で悩まずに、まずはご相談ください。(お問い合わせ：経営支援チーム TEL 26518127)